### 令和3年度 第1回大阪支部評議会の議事概要

開	催	日	令和 3 年 7 月 9 日 (金) 14:30~16:30
開	催場	所	大阪科学技術センター 7階 700 号会議室
出	Ė	者	有澤評議員、岩﨑評議員、北山評議員(議長)、小松評議員、渋谷評議員、
	席		永尾評議員、横山評議員(五十音順)
議		題	

- 1 令和2年度 決算(見込み)について
- 2 令和2年度 大阪支部予算執行状況および事業実施報告について
- 3 インセンティブ制度の見直しについて
- 4 その他

# 議事概要

(主な意見等)

### 1 令和2年度 決算(見込み)について

事務局より資料に基づき説明。

#### ≪主な意見≫

特になし。

### 2 令和2年度 大阪支部予算執行状況および事業実施報告について

事務局より資料に基づき説明。

### ≪主な意見≫

#### 【学識経験者代表】

健康経営優良法人の認定数が全国1位であることや健康保険委員の登録数が1年で増えていることなどの報告があり、コロナ禍であっても様々な取り組みを行い努力されているということがよく分かった。

### 3 インセンティブ制度の見直しについて

事務局より資料に基づき説明。

### ≪主な意見≫

#### 【学識経験者代表】

健診や保健指導を実施することが医療費適正化に向けて一番重要だと考えるため、Aの「指標 1 特定健診等の実施率」及び「指標 2 の特定保健指導の実施率」の配点を上げることには賛成である。

### 【事業主代表】

新型コロナウイルス感染症の影響により健診を実施できていない事業所が多いと思うが、何 か対策があるか。

#### 【事務局】

昨年の 4・5 月は新型コロナウイルス感染症の影響により健診を停止していたがその後は再開しており、コロナ禍であっても健診による生活習慣病の早期発見を進めるため、現在はどこの健診機関でも健診を受診できるようになっている。健診機関は感染予防対策を徹底しているので、健診を受診しないことよりも生活習慣病の発見が遅れることによる重症化予防の観点から受診勧奨を進めている。

また、集団健診について会場をワクチン接種会場として使用する関係上、10 月以降に実施を 計画している。ワクチン接種が進んでいけば、健診も受診していただけるようになるのではな いかと考えている。

#### 【学識経験者代表】

「指標 5 ジェネリック医薬品の使用割合」の取り扱いについては、ジェネリック医薬品の使用割合が 80%に達しているのであれば、指標から外すというのも考え方もあるのではないか。

#### 【被保険者代表】

「指標 5 ジェネリック医薬品の使用割合」の取り扱いについては、指標から外してしまうと取り組みがそこで終わってしまうのではないかという懸念がある。ジェネリック医薬品使用割合が 80%を超えている支部にのみ得点を加算するという方法があればよいのではないか。

#### 【事業主代表】

「指標 5 ジェネリック医薬品の使用割合」の取り扱いについては、ジェネリック医薬品使用割合はこれ以上伸ばしていくことは難しいと思うので、80%を達成すれば除外してもよいのではないか。

#### 【学識経験者代表】

加算減算の効かせ方について、加算率を 0.01%より引き上げるのはあまり賛成できない。インセンティブがなかったとしても、各支部で医療費適正化の取り組みを行っているので、今のまま着実に取り組みを進めることが大切と考える。

### 【学識経験者代表】

加算減算の効かせ方にメリハリをつけるのであれば、減算対象支部を例えば 10 支部程度に 絞った方がより競争力が高まるのではないか。

#### 【被保険者代表】

インセンティブ制度自体が始まってまだ3年程度であるので、加算減算の効かせ方の見直し についてはあまり大きく変えず現行のままでよいのではないか。 また、評価割合については、実施率の対前年度上昇幅のパーセンテージを上げる方が企業としては取り組みやすいのではないか。

## 【学識経験者代表】

評価割合を現行の「実績 6 伸び率 4」から伸び率のウェイトをより高めるという点について、大規模支部は加入者数や増加人数が多いため実施率が低くなり、現行の「実績 6 伸び率 4」は不利である。正確な事業活動の推進状況を反映させるためにも、今後は最低でも「実績 5 伸び率 5」にするのはどうか。

4 その他について

事務局より資料に基づき説明。

≪主な意見≫

特になし。

### 特記事項

• 傍聴者: なし

· 次回開催:令和3年10月予定